



国立研究開発法人 科学技術振興機構 (JST) 共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)

弘前大学 COI - N E X T
Well-being
イノベーションサミット2024

オンライン
同時開催
参加無料
※ネットワーキングパーティーは有料です

Well-being Innovation Summit (HIROSAKI)

“弘前 COI-NEXT : Well-being イノベーション PJ 最前線” Well-beingな地域共創社会を創る

2024. **2.2** FRI
13:00-17:15 ネットワーキングパーティー
[17:30-19:00]

※サミット会場での受付開始時間は12:00からです

アートホテル 弘前シティ・
プレミアホール (青森県弘前市大町1-1-2)

対象：一般市民・学生・大学・企業・研究機関等
先着300名(会場参加)・1200名(オンライン参加)予定

弘前 COI-NEXT 拠点は、健康を基軸とした「経済発展モデル」と「全世代アプローチ」で well-being な地域共創社会の実現をめざす。これまでの COI 活動成果を基盤に、健康 (QOL) の本質的課題解決へ向けてさらに力強く挑戦し、STI for SDGs の理念のもと、地域から世界の健康づくり (SDGs) への貢献をめざす。新健康未来イノベーション戦略の実現に向け、未来の地域社会モデル、ヘルスケア産業創出等について第一線の産学官金民関係者が一大集結し、熱く議論する。

「健康基軸の「経済発展モデル」と「全世代アプローチ」で
高QOL&GNH未来社会実現をめざす」

program ※プログラム・登壇者は変更になる可能性があります。

- 開会挨拶 弘前大学長・福田眞作、青森県知事・宮下宗一郎、弘前市長・櫻田宏 (15)
- 来賓挨拶 文部科学省 科学技術・学術政策局 科学技術・学術総括官・山下恭徳氏 (5)
- 来賓挨拶 内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局長・松尾泰樹氏 (5)
- 来賓挨拶 COI-NEXT 共創分野・地域共創分野 第1領域 副プログラムオフィサー・吉田輝彦 (5)
- 基調講演 弘前大学 COI-NEXT 拠点長 (PL) / 弘前大学 学長特別補佐 / 健康未来イノベーション研究機構長・教授・村下公一「Well-beingな地域共創社会の実現」(15)
- 特別講演1 経済産業省 商務・サービスグループヘルスケア産業課 総括補佐・藤岡雅美氏「新しい健康社会の実現～健康という価値の再定義～」(12)
- 特別講演2 料理研究家・浜内千波氏「食分野からみた健康経営の考え方」(12)
- プレイクタイム(15)
- 特別企画1 **QOL 健診を基軸とした地域 / 職域 / 学域での取組**
地域 (市町村) :①青森県弘前市 健康こども部長・佐伯尚幸
②青森県つがる市 民生部長・成田毅彦氏(10)
職域 (健康経営) :①株式会社ミワ電工 取締役 営業部次長・島谷昌孝氏 (5)
学域 (健康教育) :①中南北地区連携推進協議会 作業部会長 / 弘前大学 教育学部 地域連携支援室・室長、教授・上野秀人氏
②弘前保健所管内食生活改善推進員 連絡協議会 会長 / 青森県食生活改善推進員 連絡協議会 副会長・斎藤明子氏
③青森県黒石市教育委員会 教育長・山内孝行氏
④青森県教育庁 スポーツ健康課 体育・健康グループ 指導主事・三上孝志氏 (20)
- 特別企画2 **全世代 PJ 最前線：若者が健康未来を変える** (弘前大学生協学生委員会 笹森穂花 (弘前大学 教育学部 2年) + 弘前大学大学院保健学研究科 教授・斎藤まなぶ) (14)
- 特別企画3 **経済循環モデル最前線 (SIB)** 東京大学大学院薬学系研究科 客員准教授・五十嵐中氏
DeSCヘルスケア株式会社 代表取締役社長 / 弘前大学 COI-NEXT 副拠点長・社会実装統括 (IL)・瀬川翔花王株式会社 研究開発部門 特命エキスパート / 弘前大学 COI-NEXT 社会実装副統括 (SIL)・桂木能久 (20)
- 特別企画4 **デジタルツイン戦略最前線** 東京大学大学院情報学環 准教授・上村鋼平氏
名古屋大学大学院医学系研究科 准教授・中枋昌弘氏
東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 臨床統計学分野・渡部正也 氏
和歌山県立医科大学 保健看護学部 教授・宮井信行氏 (24)
- 特別企画5 **社会実装戦略最前線** 明治安田生命 / コープ共済連 / カゴメ / ハウス / 雪印メグミルク / HMT / テクノスルガ・ラボ / バリュー HR / マルマンコンピュータサービス / 東北化学薬品 / ICI (24)
- パネルD C **「Well-being な地域社会づくりへ」**
MD：株式会社宮田総研 代表取締役社長 / 株式会社ヘルスケアイノベーション 代表取締役社長・宮田満氏
AD：COI-NEXT 共創の場形成推進会議 委員 / 名古屋大学医学部附属病院 先端医療開発部 部長
先端医療・臨床研究支援センター長・水野正明氏
P L：村下 PL、瀬川 SPL、廣田 SPL、中路顧問、弘前市、青森県、市民 (親子体操普及員・食改)、行政・大学・企業 (COI)等(40)
- 閉会挨拶 弘前大学 理事(研究担当)・副学長・曾我亨(3)
弘前大学 COI-NEXT 副拠点長・研究統括 (RL) / 弘前大学大学院医学研究科長・教授・廣田和美(3)
- 交流会 ネットワーキングパーティー(交流会) (90)
- 併催企画 QOL 健診体験(デモ) + ポスター展示 (弘大 COI-NEXT 概要・だし活レシピ等)

申込方法は裏面へ▶

Well-being Innovation Summit (HIROSAKI)

基調講演・特別講演・特別企画 講師およびパネリストプロフィール

村下 公一 弘前大学 COI-NEXT 拠点長 (PL) / 弘前大学 学長特別補佐 / 健康未来イノベーション研究機構 教授



青森県庁、ソニー、東大フェロ一等を経て2014年より現職。弘前大学 COI 拠点では副拠点長（戦略統括）として産学連携マネジメントを統括。文科省他政府系委員等多数。内閣府「第1回日本オープンイノベーション大賞」内閣総理大臣賞受賞（2019）。第7回フタバ大賞、総務大臣賞受賞（2019）。第9回イノベーションネットワークワード・文部科学大臣賞受賞（2020）。専門：地域産業（イノベーション）政策、社会医学。

水野 正明 COI-NEXT 共創の場形成推進会議 委員 / 名古屋大学医学部附属病院先端医療開発部 部長・先端医療・臨床研究支援センター長



1992年名古屋大学大学院医学研究科修了。社会保険中央病院、国立長寿医療研究センターを経て、1996年名古屋大学医学部脳神経外科助手、1999年同大学院医学系研究科遺伝子治療学助教授、2010年同医学部附属病院脳神経外科中核管理センター長、2012年同大学院医学部附属病院先端医療・臨床研究支援センター病棟教授。2018年8月1日付、同大学院医学部附属病院先端医療開発部部長・臨床研究支援センター長・病院教授、医学博士 脳神経外科専門医 1990年日本脳神経科学会入会。

中野 秀人 中南地区連携推進協議会 作業部会長 / 弘前大学 教育学部 地域連携支援室・室長、教授



1991年上越教育大学大学院学校教育研究科修了。福岡県立学校、福岡県体育研究所、プリム日本人学校で体育・健康教育を実践する。2012年から弘前大学教育学部准教授、2016年から同教授。中南地区連携推進協議会設立当初から健康教育推進事業に携わり、学校の実態に応じた健康教育プログラム構想のサポートを継続。

成田 毅彦 青森県つがる市 民生部長



1963年つがる市（旧稲垣村）生まれ。つがる市職員として2016年4月 国民健康保険課長補佐、2019年4月 国民健康保険課長を歴任し2021年4月より現職。常に市民に寄り添い、県内初となるがん患者医療用ウィッグ助成を提案するなど、市民の健康増進、医療費の適正化を推進している。

藤岡 雅美 経済産業省 商務・サービスグループヘルスケア産業課 総括補佐



2010年に京都大学医学部人間健康科学科（保健師・看護師の免許取得）を卒業。経済産業省に入省（経済課）し、同省ヘルスケア産業課やAMED等の組織、健康経営やヘルスケアベンチャー支援（JHeC）など、各種ヘルスケア政策の立ち上げを行う。また、厚生労働省に出向し、「健康寿命延伸プラン」や「健康日本21（第三次）」の策定や医療DX（特にPHR）の立ち上げに携わる。現在は、経済産業省に属するヘルスケア政策全般を担う。その他、子育て、働き方改革等の社会課題解決に向けた政策にも従事。

宮田 満 株式会社宮田総研 代表取締役社長 / 株式会社ヘルスケアイノベーション 代表取締役社長



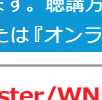
東京大学理学系大学院植物学修士課程修了。日経メディカル編集部を経て日経バイオテクノロジー編集部、医療局ニュースセンター長、先端技術情報センター長、医療局バイオセンター長を歴任。平成24年6月を以て2年6か月で特命編集委員、慶應大学先端生命科学研究所客員教授、鳥取大学染色体工学センター客員教授。平成27年7月、(株)宮田総研設立。平成29年2月、(株)ヘルスケアイノベーション設立。

五十嵐 中 東京大学大学院薬学系研究科 客員准教授



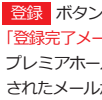
2002年東京大学薬学部薬学卒業。2008年東京大学大学院薬学系研究科博士後期課程修了。2008年から東京大学大学院薬学系研究科特任助教、2015年から同特任准教授を経て、2019年より現職。専門は薬理経済学 医療経済がトランの作成、個別の医療技術の費用対効果評価、QOL評価指標の構築など、多方面から意思決定の助けとなるデータの構築を続けてきた。

宮井 信行 和歌山県立医科大学 保健看護学部 教授



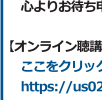
2002年和歌山県立医科大学大学院医学研究科にて学位（医学）取得。2003年和歌山県立医科大学医学部（衛生学講座）講師、2007年大阪教育大学准教授、2011年和歌山県立医科大学保健看護学部准教授を経て、2013年より現職。研究分野は、衛生学・公衆衛生学、健康科学、学校保健学、小児期・成人期・老年期の各ライフステージにおける生活習慣病発症に関わる遺伝・環境要因の解明に関する研究に従事。

三上 孝志 青森県教育庁 スポーツ健康課 体育・健康グループ 指導主事



平成11年3月弘前大学教育学部小学校教員養成課程卒業。平成12年4月弘前市立船沢小学校で教員をスタート。黒石市立道子野木小学校、平川市立碓間小学校、藤崎町立藤崎小学校、令和3年4月青森県教育庁スポーツ健康課に勤務。小学校体育、肥満傾向児減少に関わる業務に従事。

山内 孝行 青森県黒石市教育委員会 教育長



1955年1月10日生まれ。1978年3月 弘前大学教育学部小学校教員養成課程 卒業。2015年3月 黒石市立中郷小学校 校長 退職。2015年4月 黒石市立黒石幼稚園 園長（2017年11月まで）。2017年11月より黒石市教育委員会教育長（現在3期目）。黒石市立図書館館長（兼任）。青森県立黒石高等学校 学校運営協議会会長。

浜内 千波 料理研究者



徳島県生まれ。大学卒業後、OLを経て高松料理研究所へ入所。1980年ファミリーッキングスクールを開校。料理は、もっともっと夢のある楽しいものをテーマに、雑誌や書籍をはじめ、テレビ、ラジオ、講演会、各種の料理イベントで活躍。106kgから56kgのダイエットに成功した自身の経験をもとに考案したダイエットメニュー群料理は特に定評があり生半期の料理教室では家庭の健康に笑顔のある食生活に役立つ家庭料理を教えている。著書に、濱内千波の塩分1/2でもこんなにいい！1-35歳からの生活習慣病予防と健康のために「文化出版局」など、健康料理を含む多くの料理書を出している。

瀬川 翔 DeSCヘルスケア株式会社 代表取締役社長 / 弘前大学 COI-NEXT 副拠点長・社会実装統括 (IL)



大阪大学 大学院工学研究科修了。2010年、(株)デー・エヌ・イーに入社。Eコース分野での新規事業立ち上げ、事業責任者を経て、2015年5月よりヘルスケア事業に参画。2020年4月よりDeSCヘルスケア(株)の代表取締役社長。2022年9月(株)データホライズン代表取締役兼副社長執行役員、2022年10月(株)デー・エヌ・イーグループエグゼクティブヘルスケア事業本部本部長。

上村 鋼平 東京大学大学院情報学環 准教授



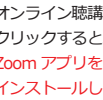
平成21年3月 東京大学医学系研究科 生物統計学分野で博士課程を修了し、その後8年間は医薬品医療機器総合機構で新薬承認の生物統計学審査官、2017年より現在に至るまでは、東京大学大学院情報学環 生物統計情報学コースで大学院生の教育と研究に従事。

斉藤 まなぶ 弘前大学大学院保健学研究科 教授



2007年弘前大学大学院医学研究科卒業。2009年同大学院医学研究科助教。2011年同大学院医学部附属病院講師。2019年同大学院医学研究科准教授・診療教授を経て、2022年より現職。子どものこころ専門医、精神科専門医。児童思春期のメンタルヘルス及び疫学研究を専門とし、2013年から幼児健診で発達障害の早期発見及び早期介入に取り組む。5歳児健診WEBシステム「こころ@」及び3歳児健診支援システムの開発に従事。

佐伯 尚幸 青森県弘前市 健康子ども部長



弘前市採用後、地域医療推進室長、地域医療課長を歴任し、2023年4月より現職。各世代の健康増進の取組を推進することで、市民の平均寿命、健康寿命の延伸を図り、全ての市民が健やかに、心豊かに生活できる持続可能な社会の実現に取り組んでいる。

斎藤 明子 弘前保健所管内食生活改善推進員連絡協議会 会長 / 青森県食生活改善推進員 連絡協議会 副会長



昭和58年3月短期大学卒業。栄養士免許を取得する。平成9年弘前市食生活改善推進員養成講座受講後、平成10年より活動を始める。平成19年食生活改善推進員 会長に就任。平成20年から24年まで弘前市教育委員会教育委員、平成25年弘前保健所管内食生活改善推進員 連絡協議会 会長に就任。現在に至る。令和2年厚生労働大臣表彰、令和5年弘前市リードマン認定。

参加申込方法 下記の URL または二次元バーコードから『事前参加登録サイト』にアクセスいただき申込をお願いいたします。聴講方法は『会場聴講（アートホテル弘前シティ・プレミアホール）』または『オンライン聴講（Zoom）』からご選択可能です。

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_e98Ar3AwQRW9BdnxsocPqw

会場聴講(アートホテル弘前シティ・プレミアホール)をご希望の方へ

- ① マスクの着用は 個人の主体的な選択を尊重し、個人の判断を基本とします。
- ② 「会場聴講(アートホテル弘前シティ・プレミアホール)」を希望された方へもオンライン聴講用 URL をお送りさせていただいております。
- ③ サミット会場での受付開始時間は 12:00 からとなります。



1. 事前参加登録サイト

「URL」「二次元バーコード」から『事前参加登録サイト』にアクセスいただき お名前、メールアドレス等の情報入力をお願いいたします。参加方法は『会場聴講(アートホテル弘前シティ・プレミアホール)』、『オンライン聴講 (Zoom)』の選択が可能です。

事前参加登録サイト画面

名*	姓*
一部	鈴木
メールアドレス*	
ichiro.suzuki@mail.com	
ふりがな(氏名)*	役職名*
すずき いちろう	
会社名・団体名*	TEL*
弘前大学	(12-345-6789)
部署名*	都道府県*
COI	青森県

サミットへの参加方法*

- 会場聴講 (アートホテル弘前シティ・プレミアホール) 先着300名
- オンライン聴講 (Zoom)

事前参加登録はサミット開催当日も可能ですがお時間に余裕をもちの登録をおすすめいたします。

2. 登録完了メール

登録 ボタンをクリックすると登録されたメールアドレスに『登録完了メール』が届きます。会場聴講(アートホテル弘前シティ・プレミアホール)をご選択いただいた方にも「聴講用URL」が記載されたメールが届きますが、当日は会場へ直接お越しください。オンライン聴講 (Zoom) をご選択された方は開催当日にメールに記載された「聴講用URL」をクリックしサミットにご参加ください。

登録完了メール画面

本メールは「弘前大学 COI-NEXT Well-being イノベーションサミット 2024」へ参加申込をいただいた方にお送りさせていただいております。

- ◆会場聴講 (アートホテル弘前シティ・プレミアホール) をご選択いただいた方は会場へのお越しを心よりお待ちしております。
- ※当日会場にお越しいただけない場合は下記の聴講用 URL からご参加いただけます。
- ◆オンライン聴講 (Zoom) の方は下記の聴講用 URL からのご参加を心よりお待ちしております。

【オンライン聴講用 URL】
ここをクリックして参加
<https://us02web.zoom.us/j/85370340693>

サミット当日は講演開始 15 分前から聴講用 URL をクリックし聴講画面に入ることができます。

3. オンライン聴講 (Zoom)

オンライン聴講を選択された方は開催当日に「聴講用 URL」をクリックすると以下の画面が表示されます。Zoom アプリをインストール済みの場合は「ミーティングを起動」をクリックしていただき、インストールしていない場合は「ブラウザから参加してください」をクリックしてご参加ください。オンライン聴講はパソコン、タブレット、スマートフォンいずれの端末からも可能です。

ブラウザが表示しているダイアログのzoom.usを開くをクリックしてください

ダイアログが表示されない場合は、以下のミーティングを起動をクリックしてください

Zoomクライアントをインストールしていないのですか? [今すぐダウンロードする](#)

Zoomクライアントで問題が発生していますか? [ブラウザから参加してください](#)

Zoom アプリのインストールが可能です。スマートフォン・タブレットの場合はアプリインストール必須です。

お問い合わせ先：弘前大学健康未来イノベーション研究機構 TEL：0172-39-5538 E-mail：coi_info@hirosaki-u.ac.jp

・映像視聴に関わる技術サポートは提供いたしません。聴講者の PC やネットワーク設定、Zoom のトラブル等により当日聴講いただけない場合、対応致しかねますので予めご了承ください。